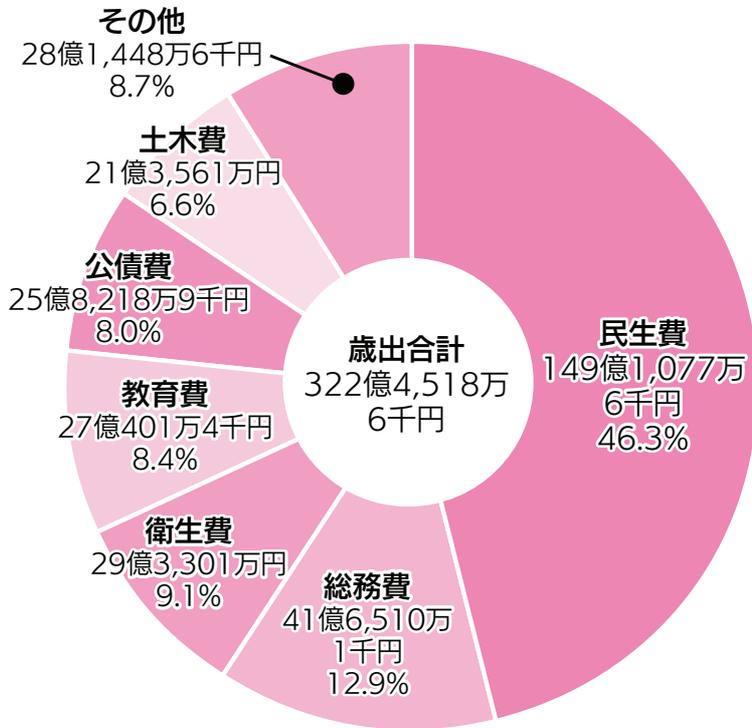


# 一般会計 歳出 322億4,518万6千円

一般会計歳出総額は、前年度と比較して、29億1,899万7千円(8.3%)の減少となりました。

市庁舎の建設が完了したことによる、総務費の減が主な要因です。



## 令和元年度

# 決算

令和元年度決算状況をお知らせします

皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われたか、市の財政がどのような状況であるかについてお知らせします。

筑紫野市の財政状況は健全な状態を保っていることが、さまざまな財政指標から分かります。

問い合わせ先 財政課

## 基金

市全体の貯金は約16億円増加

基金は、自治体の貯金のことです。  
今後も、計画的な積み立て・取り崩しに努めていきます。

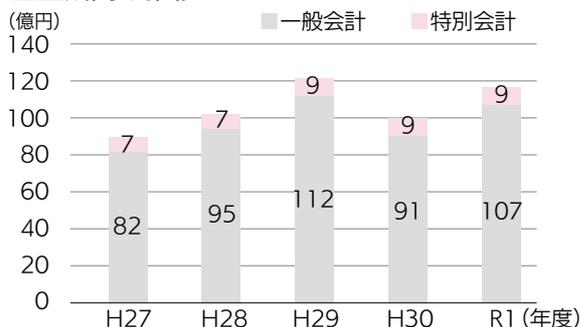
### 令和元年度末残高

一般会計 106億5,998万1千円

特別会計 9億1,157万9千円

令和元年度は、公共施設等整備基金に約14億円の積み立てを行ったことや、基金の取り崩しを抑えたことにより、基金の残高が約16億円増加しました。

### 基金残高の推移



知っておきたい！  
**財政用語**

歳入

- 自主財源 市が自主的に調達できるお金
- 市税 市民税や固定資産税など
- 繰入金・繰越金 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
- 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
- 諸収入など 発掘調査受託事業収入や各種教室の受講料など
- 依存財源 国や県からの交付金や銀行からの借入金
- 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう国が交付するお金
- 国県支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
- 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
- 地方債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金

歳出

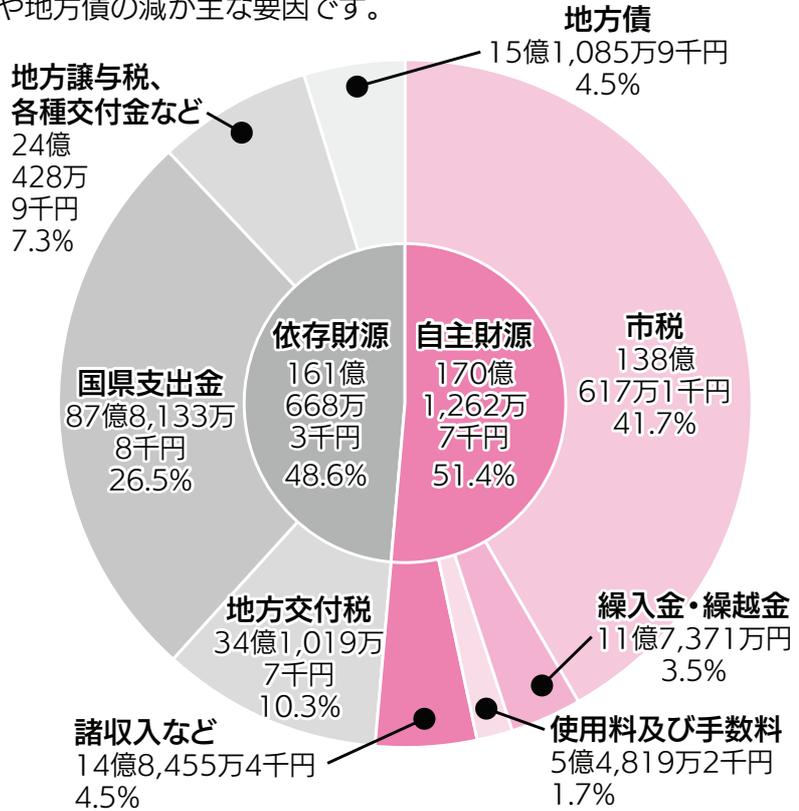
- 民生費 子どもや高齢者、障がい者など福祉の費用
- 総務費 行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用
- 衛生費 健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- 教育費 教育や文化、スポーツなどの費用
- 公債費 市の借金の返済などの費用
- 土木費 道路や公園などの補修や建設などの費用
- その他 議会や農・商工業、消防、災害復旧などの費用

※特別会計、公営企業会計の決算はホームページに掲載しています。

一般会計 **歳入** 331億1,931万円

一般会計歳入総額は、前年度と比較して、31億7,984万円(8.8%)の減少となりました。

市庁舎の建設が完了したことによる、繰入金(基金の取り崩し)や地方債の減が主な要因です。



地方債

市全体の借金は約20億円減少

地方債は、自治体の借金のことです。

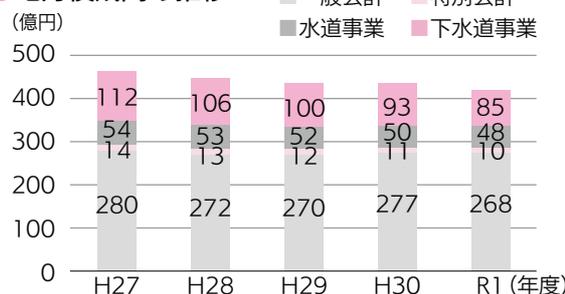
令和元年度は、前年度に引き続き、計画的な借入を行ったことにより、市全体の地方債の残高が約20億円減少しました。

今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

●令和元年度末残高

一般会計	267億7,732万6千円
特別会計	9億5,352万7千円
水道事業	47億9,170万2千円
下水道事業	85億2,438万3千円

●地方債残高の推移



## 指標から見る筑紫野市の状況

### 財政力指数

地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

令和元年度は、前年度より0.003ポイント改善しました。

令和元年度は **0.792**（前年度0.789）

財政力指数の推移



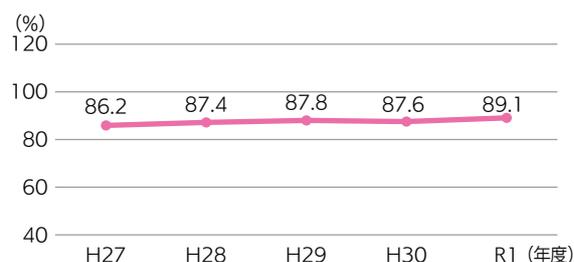
### 経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金（地方税、普通交付税など）が、毎年決まって出ていくお金（人件費、借金の返済など）に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

令和元年度は、扶助費の増などにより前年度より1.5ポイント増加しました。

令和元年度は **89.1%**（前年度87.6%）

経常収支比率の推移



### 健全化判断比率・資金不足比率

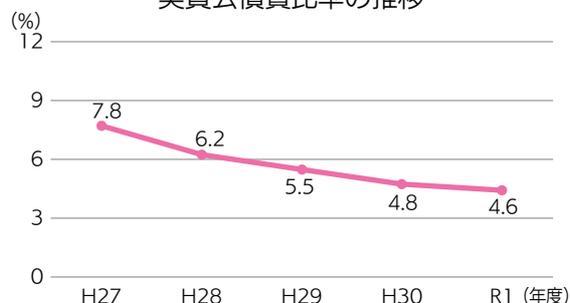
自治体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断する指標です。

本市の比率は国の定める基準を大幅に下回っており、前年度に引き続き健全であるという結果となっています。

令和元年度の実質公債費比率は、地方債残高の減少に伴い、地方債の返済が減少したことで、前年度より0.2ポイント改善しました。

令和元年度は **4.6%**（前年度4.8%）

実質公債費比率の推移



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は、いずれも比率が生じておらず、健全な状態です。

## 令和2年度上半期 筑紫野市の財政運営の状況をお知らせします

市では、市民の皆さんが納めた税金の使い道や、市の財政がどのようになっているかを公表しています。  
今回は、令和2年度の上半期(令和2年9月30日現在)の歳入歳出予算の執行状況を紹介いたします。

会計名	予算現額A	収入済額B	収入率 B/A×100	支出済額C	執行率 C/A×100
一般会計	450億1,302万6千円	268億1,550万5千円	59.6%	231億7,473万1千円	51.5%
国民健康保険事業	99億8,007万9千円	37億2,827万円	37.4%	34億6,256万7千円	34.7%
住宅新築資金等貸付事業	383万6千円	1,772万5千円	462.1%	125万7千円	32.8%
奨学資金貸与事業	741万円	489万5千円	66.1%	307万2千円	41.5%
介護保険事業	67億1,105万6千円	26億770万8千円	38.9%	28億2,235万4千円	42.1%
後期高齢者医療事業	24億8,404万8千円	5億4,128万5千円	21.8%	11億1,194万3千円	44.8%
農業集落排水事業	2億3,586万7千円	1,297万2千円	5.5%	8,292万円	35.2%
二日市財産区	295万5千円	209万5千円	70.9%	12万2千円	4.1%
御笠財産区	1,640万6千円	798万1千円	48.6%	5万円	0.3%
平等寺山財産区	3,082万円	67万8千円	2.2%	5万円	0.2%
合計	644億8,550万3千円	337億3,911万4千円	52.3%	306億5,906万6千円	47.5%

### ●市民の税負担状況

※令和2年9月30日現在の人口 104,497人

- ・市民一人あたりの市税負担額 73,569円(市税収入済額76億8,778万6千円に対する額)

### ●財産の現在高

- ・土地 330万2,109㎡ (令和2年3月31日現在)
- ・建物 24万457㎡ (令和2年3月31日現在)
- ・基金 115億7,423万5千円 (令和2年9月30日現在)

### ●市債および一時借入金の現在高

- ・一般会計 262億2,398万8千円 (令和2年度未見込)
- ・特別会計 8億2,731万7千円 (令和2年度未見込)
- ・一時借入金(全会計) 0円 (令和2年9月30日現在)

- 詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。
- 問い合わせ先 財政課 財政担当

## 政策 1 行財政改革

### ■ 筑紫野市総合計画策定事業

2,022千円

市が進むべき方向性を明確にした市の最上位の計画として、令和2年度からを計画期間とする「第六次筑紫野市総合計画」を策定しました。

### ■ ふるさと応援寄附金納付促進事業

68,649千円

自主財源の確保と地場企業の活性化を目的に、ふるさと応援寄附金の納付を促進しました。



五つの重点施策などを定めた「第六次筑紫野市総合計画」

## 政策 2 産業・雇用をつくる



「清流の里柚須原」による水路の整備活動

### ■ 多面的機能支払交付金事業

17,259千円

農村環境向上の効果が高い共同活動に取り組む組織に対して支援を行いました。

### ■ 空き店舗対策補助事業

1,636千円

市内商店街の活性化を目的に、空き店舗で開業する事業者に対して、家賃の一部を支援しました。

## 政策 3 生活をまもる

### ■ 生活支援体制整備事業

5,026千円

地域コミュニティ運営協議会と連携した地域包括ケアシステムの勉強会の開催や、地域の生活で役立つ活動、困りごとの支援先などの情報を掲載したガイドブックの作成を行いました。

### ■ 予防接種事業 65,339千円

疾病の発生およびまん延を予防するために予防接種を実施しました。

### ■ 防災事務事業

8,847千円

災害時には筑紫野市災害対策（警戒）本部を設置するなどの市民の安全を守る活動や筑紫野市・太宰府市合同総合防災訓練、地域での出前講座などにより市民の防災意識の向上を図りました。



各コミュニティセンターで地域包括ケアシステムの勉強会を行いました

令和元年度  
決算

実施した  
主な事業

令和元年度施政方針に基づき、令和元年度も多くの事業を実施しました。その中から、市が掲げる五つの政策と、主な事業の概要についてお知らせします。

● 問い合わせ先 企画政策課

## 政策 4 共助社会づくり



山口コミュニティ運営協議会が約170人規模で行った「認知症「笑顔で声かけ」訓練イン山口」

### ■ コミュニティ運営協議会補助事業

40,956千円

コミュニティ運営協議会の運営および活動に補助を行いました。

### ■ プレミアム付商品券事業

149,832千円

低所得者や子育て世帯を対象として、市内店舗で利用できるプレミアム付商品券の販売を行いました。

## 政策 5 未来をつくる

### ■ 保育人材確保対策事業

7,720千円

保育士の勤務環境改善のため、保育補助者を雇う私立保育所に対して補助を行いました。

### ■ 小中学校ICT環境整備事業

42,371千円

教育環境の向上を図るため、ネットワーク環境の一部整備などを行いました。

### ■ 橋りょう長寿命化促進事業

34,066千円

市内橋りょうの定期点検と適正な維持管理を行うことで、橋りょうの長寿命化を図りました。



保育人材を確保し、待機児童解消を目指します



針摺橋(市内針摺中央)の長寿命化のため、橋桁のひび割れ部分に補修剤を注入しました

### ■ コミュニティバス等運行事業

32,593千円

市内の公共施設、医療機関、商業施設との間を結ぶコミュニティバス「つくし号」を運行するほか、御笠コミュニティ地域において「御笠自治会バス」の運行を行いました。

### ■ 筑紫駅西口土地区画整理事業

437,900千円

筑紫駅西口周辺において暮らしやすい市街地を形成することを目的とした土地区画整理事業を進めました。